



・メンバーの声

いつも読んでくださっている皆様はご存知のことと思いますが、この通信では毎号いくつかの記事をメンバーに書いてもらっています。利用している若者たちが語るまごころドーナッツについての言葉は、何よりも説得力のある説明だと考えているからです。

「何をしているのか」はもちろん大切なことです。しかし、一番大切なことは「活動を通じて若者たちが何を感じ思っているのか」ではないでしょうか。利用を検討している人や活動に関わろうとしてくれる地域の人たちと出会うと、必ず出てくる話題です。

今回は、約1年利用しているメンバーに、これまでの利用について振り返ってもらいました。

～私のまごころドーナッツの使い方～

2022年6月にまごころドーナッツ（中野区若者フリースペースの週5日開所）が始まり10ヵ月、2023年4月（新年度）になり思い出が蘇り懐かしさを感じるようになりました。

まごころドーナッツの友達を見ていると、年度末から忙しくなり会える日が少なくなり、私も就職に向けて次のステージに進んでいる感覚です。寂しくも嬉しい気分ですよー↑↑♪♪

この場所がなかったら家に居ることが多く、マンネリ化したコミュニケーションで喜怒哀楽が薄くなっていましたね。

去年の梅雨頃から新しい人達と知り合い、息の合う人とはお喋りして仲良くなり、ちょっと難しそうだなあ…と思ったらお話ししない、といったことができる自由な空間なんです。プログラムを自分達で決めて（ボイストレーニング・中野区を知るお散歩・テーマトーク..etc）などを楽しんでいましたが、夏頃は暑くて自転車で来るのが辛く正直に言うと言いたくないんですよ。

しかし何かに取りつかれたように、人と会話する魅力やプログラムの内容が楽しく何だかんだ言いながら自由に行っていました。（笑）

秋頃は私の気持ちが沈み参加していませんでした。あの時は辛かったです。冬になり気持ちが上がりちょこちょこ顔を出していました。ざっくりまとめると、まごころドーナッツで新しい喜怒哀楽を感じ自分の世界観が広がり成長できた約一年間でした。

（メンバー siro）

・はたらく大人と出会う会 ～コーチとプログラマー～

今回のゲストは、フリーランスエンジニア（プログラマー）をしながら「聞き屋」というコーチングのお仕事もされている和楽昇吾.氏です。これまでのゲストにも複数の職を同時にされている方はいらっしゃいましたが、ここまで全く異なる種類のことをされている人は初めてでした。

和楽さんは「人生と満足度」のグラフなどとてもわかりやすい資料を若者たちのために用意してくださり、学生時代からこれまでの人生を語ってくださいました。二つの仕事の内容はもちろん、どういう経緯、どういう思いでその仕事をしてきたのか。悩んだことや挫折の話もあり、等身大の語りが印象的でした。



アットホームな空気を作っていただいたことで、メンバーたちからの質問や反応が多く生まれ、そこから各メンバーの興味関心が見えてきたのも面白かったです。あるメンバーの希望で、みんなの前でコーチを受けてみるといった展開もありました。プログラムを通じてみんなの働くことへの意欲を感じました。

和楽さんにとっても若い人たちとの交流は良いものとなったようです。今後定期的にまごころドーナッツに来てくださる話もあり、社会とのつながりを大切にしているまごころドーナッツにとって大変ありがたい展開です。出会いに感謝ですね。

（スタッフ 田中亮太）

・ボランティアプログラムを3つ実施しました

4月はボランティア活動が非常に活発な月でした。3月にはたらく大人と出会う会に来てくださったNPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン主催の春休みの子どもの居場所、いつもお世話になっている東中野区民活動センター仙石さんの子ども向けフラワーアレンジメント教室、そして中野区にある椀ヶ丘高校の校内居場所カフェと、3つの場所にボランティアとして参加しました。

どの場所でもまごころドーナッツのメンバーたちは彼ららしく力を発揮してくれました。ボランティア先の方々とやりとりが礼儀正しかったり、子どもたちに優しく話しかけたり、作業の手際が良かったり、フリースペース内とはまた違うみんなの顔が見られるのがボランティアです。受け入れ先の地域や学校の方々もとても温かく迎えてくださり、地域につながるフリースペースとしての歩みが進んだ感がありました。これからもできる限り地域と共に活動する場を作っていきたいと思っています。

写真は、椀ヶ丘高校でひと仕事終えた後のみんなの後ろ姿です！（スタッフ 田中亮太）



・ボランティアの声

昨年秋から定期的にボランティアとして関わってくださっている西澤さんという男性がいます。メンバーたちとの関係も絶妙で今では活動に欠かせない人物となっている西澤さんから、今回お言葉をいただきましたので掲載いたします。



みなさん、こんにちは、あるいは、こんばんは。西澤です。

某スタッフさんから「ボランティアをやってみて、感じたことを書いてくれ」と寄稿依頼がありました。拙文を顧みず、一筆啓上することに致しましょう。

顔を出し始めてからもうかれこれ半年以上が経ち、立ち上がりに近い時期にその歩みをそばで見ていることになります。雑談したり、ゲームしたり、町でうろうろする町歩き等々の様々なプログラムに参加したりして、ゆる〜い時間を過ごしていたはずが、これが何かと驚きの連続。ほんの少しだけ紹介しましょう。

まずは愛称。「長っ」と思いましたが、きちんと説明があります。「まごころドーナッツ」の意味合いがこれでもかと解説されています。「若者たちの願いが込められ」過ぎでしょ。ぜひ、みなさんにも読んで欲しい逸品です。

そして、圧巻だったのが3月にあった活動報告会。スタッフさんが報告するんでしょ、と思っていたら大間違い。メンバーさんも一緒にギリギリまで準備して、手作り感抜群の感動的な本番当日。この体験でメンバーさんの居場所感がぐっと増したような気がします。

なんだかんだ個性的なメンバーさんとスタッフさんがいて、すっかり私の居場所になっているのです。おしまい。

・新スタッフ紹介



4月から女性スタッフ荒井りつこさんが入職されました！

メンバーたちから荒井さんについてコメントをもらったので掲載いたします。

- 天然／負けん気強そう／優しい／笑顔がすてき
- 話がしやすい／いろんな話に興味を持ってくれる／肯定してくれる
- まとめ人／最強の戦士
- ムチャ振りをよくされます／思い切りがいいと思います／細かいことに気づきます
- 優しい／話をきいてくれる／心配してくれる／話しやすい
- お洒落／しっかりしている

まだ短期間のお付き合いながら、メンバーたちと良い関係ができていて頼りにされている様子がわかるコメントですね。笑顔がすてきで話しやすい荒井さんに会いに、是非まごころドーナッツに来てください！

中野区若者フリースペース まごころドーナッツ

【所在地】 〒164-0011 東京都中野区中央1-41-2

中野区子ども・若者支援センター（愛称：みらいステップなかの） 4階
東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分

【電話】 03-5937-3664

【開所時間】 火曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く）11:30～19:00

※毎月2回、不定期で閉所日があります。

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。→

